

令和5年度ＩＣＴ機器活用アンケート調査の結果について（報告）

令和5年10月から11月にかけて実施した「令和5年度ＩＣＴ機器活用アンケート調査」結果の概要について、下記のとおり報告する。

記

1 調査の目的

一人一台パソコン（Chromebook）、電子黒板、デジタル教科書等ＩＣＴ機器の活用が、教員の授業改善に役立っているか、児童生徒にどのような効果があったか等について定量的に測定することで、各種ＩＣＴ機器の導入効果の確認及び今後の教育施策検討の参考とする。

2 調査対象者

- (1) 区立小中学校に勤務する教育職員（校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、巡回指導教諭）
- (2) 区立小学校に在籍する5・6年生の児童
- (3) 区立中学校に在籍する7・8年生の生徒

3 調査期間

令和5年10月10日（火）から令和5年11月10日（金）まで

4 調査項目数

- (1) 小・中学校管理職 40項目（必須回答27項目、選択回答11項目）
- (2) 小・中学校教員 56項目（必須回答40項目、選択回答16項目）
- (3) 小学校5・6年生児童 14項目（必須回答12項目、任意回答2項目）
- (4) 中学校7・8年生生徒 14項目（必須回答12項目、任意回答2項目）

5 有効回答数

- (1) 小・中学校管理職 小学校105名、中学校42名
- (2) 小・中学校教員 小学校929名、中学校384名
- (3) 小学校5・6年生児童 6,337名
- (4) 中学校7・8年生生徒 4,668名

6 調査結果

別紙「令和5年度 板橋区立小中学校 ＩＣＴ機器活用アンケート調査 結果報告（概要版）」のとおり。

令和5年度 板橋区立小中学校 ICT機器活用アンケート調査 結果報告（概要版）

【調査期間】 令和5年10月10日（火）から令和5年11月10日（金）まで

【調査対象】

- ① 管 理 職 区立小中学校に勤務する校長・副校長（149名）
- ② 教 員 区立小中学校に勤務する教育職員（1,700名）
- ③ 児 童 生 徒 区立小学校に在籍する5年生及び6年生児童（7,695名）
区立中学校に在籍する7年生及び8年生生徒（6,092名）

※調査対象には、休職中や長期欠席中の者も含まれる。

【有効回答者数（率）】

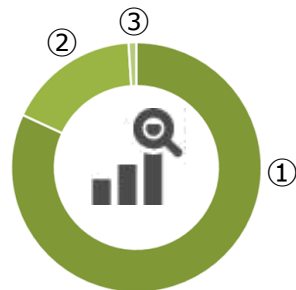
学校	小学校			中学校		
調査年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
校長・副校長	105名 (100%)	83名 (80%)	101名 (97%)	42名 (95%)	34名 (77%)	37名 (84%)
教育職員	929名 (79%)	805名 (67%)	808名 (63%)	384名 (73%)	314名 (56%)	319名 (53%)
児童生徒	6,337名 (82%)	5,601名 (74%)	5,912名 (79%)	4,668名 (77%)	4,502名 (73%)	4,633名 (75%)

電子黒板やChromebookの活用効果（管理職）

電子黒板やChromebookの活用により、小・中学校ともに**9割以上**の管理職が教員の**授業改善に向けた意欲の向上**に役立つと考えている。さらに、小・中学校ともに**約9割**の管理職が授業中の児童生徒の**集中力向上**に役立つと考えている。

- 電子黒板やChromebookの活用は、教員の授業改善に向けた意欲の向上に役立つと思いますか。

（調査項目：小学校管理職No1、中学校管理職No1）

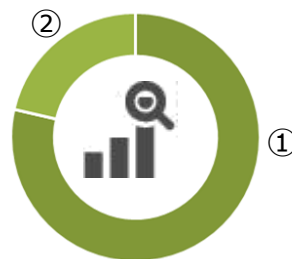


小学校管理職

99%

意欲向上に役立つと
感じている

① そう思う	82%	② ややそう思う	17%
③ あまりそう思わない	1%	④ そう思わない	0%



中学校管理職

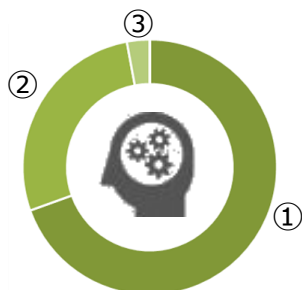
100%

意欲向上に役立つと
感じている

① そう思う	79%	② ややそう思う	21%
③ あまりそう思わない	0%	④ そう思わない	0%

- 電子黒板やChromebookの活用は、授業中の児童・生徒の集中力向上に役立つと思いますか。

（調査項目：小学校管理職No2、中学校管理職No2）

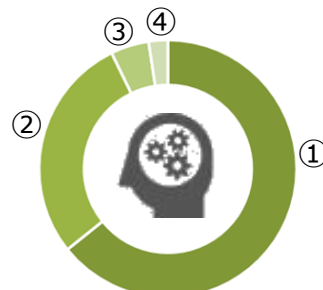


小学校管理職

97%

集中力の向上を
実感している

① そう思う	70%	② ややそう思う	27%
③ あまりそう思わない	3%	④ そう思わない	0%



中学校管理職

93%

集中力の向上を
実感している

① そう思う	64%	② ややそう思う	29%
③ あまりそう思わない	5%	④ そう思わない	2%

電子黒板や実物投影機の活用効果（教員）

9割以上の教員が「電子黒板や実物投影機の活用により児童生徒の理解が深められた」と感じている。

- 電子黒板や実物投影機をどのような授業場面で活用しましたか。あてはまるものを全てお選びください。

（調査項目：小学校教員No1-A、中学校教員No1-A）

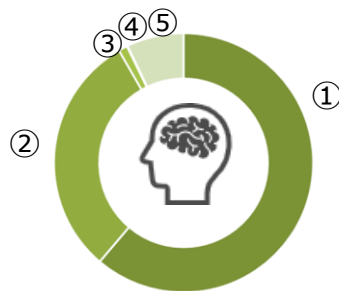
活用した場面（上位3場面）	小学校教員	中学校教員
① 単元の展開部分	1位 (77.7%)	1位 (68.5%)
② 課題の一斉提示	2位 (63.3%)	2位 (52.3%)
③ 単元の導入部分	3位 (50.3%)	3位 (48.2%)

「その他」（自由記載）より抜粋

- ・朝の会における詩の提示
- ・楽譜の提示
- ・時間割の提示
- ・ノートへの記述のしかたを師範する
- ・作図の手元がよくわかり、児童理解につなげるために活用

- 電子黒板や実物投影機を活用してから、授業内容に対する児童・生徒の理解が深められたと思いますか。

（調査項目：小学校教員No2、中学校教員No2）

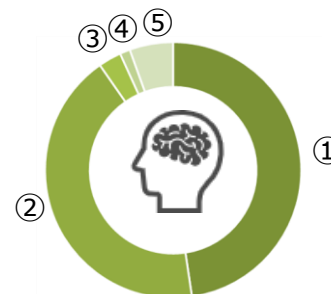


小学校教員

92%

わかりやすさ
を実感

① そう思う	61%	② ややそう思う	31%
③ あまりそう思わない	1%	④ そう思わない	0%
⑤ 電子黒板や実物投影機が教室に設置されていない	7%		



中学校教員

91%

わかりやすさ
を実感

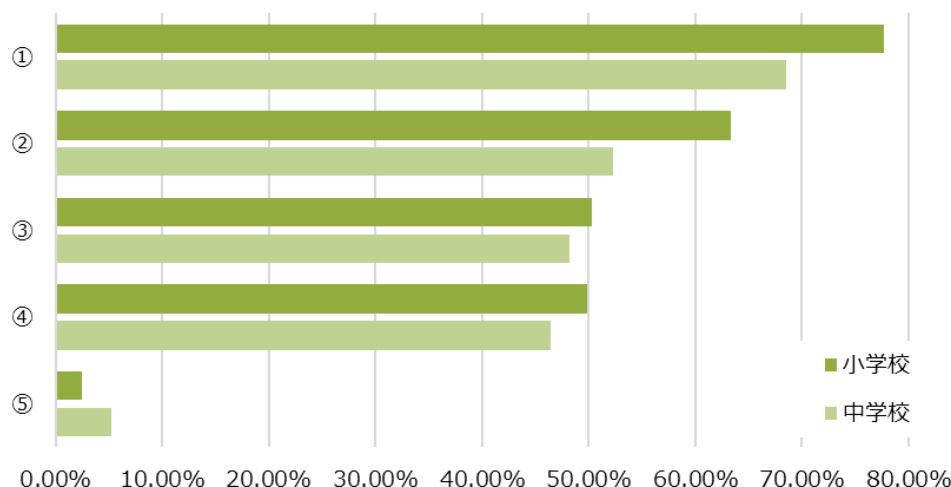
① そう思う	48%	② ややそう思う	43%
③ あまりそう思わない	3%	④ そう思わない	1%
⑤ 電子黒板や実物投影機が教室に設置されていない	5%		

Chromebookの活用効果（教員）

Chromebook整備により得られた効果として、教員からは「**複数の生徒の考えを共有できる**」「**児童・生徒一人ひとりに合わせた学びを展開できる**」ことが多く挙げられた。



- Chromebookが児童・生徒に1人1台整備されたことにより、どのような効果が得られたと思いますか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校教員No4、中学校教員No4）



Chromebook1人1台整備による効果 ※内訳については複数回答	小学校 教員	中学校 教員
① 複数の生徒の考えを共有できる	1位 (77.7%)	1位 (68.5%)
② 児童・生徒一人ひとりに合わせた学びを展開できる	2位 (63.3%)	2位 (52.3%)
③ 児童・生徒が自分で学習を調整することができる	3位 (50.3%)	3位 (48.2%)
④ 共有した考えをもとに、学びをさらに深めることができる	49.9%	46.4%
⑤ その他	2.5%	5.2%

「その他」（自由記載）より抜粋

- ・インターネットを使って調べ学習をすることができる。考えや画像を教師に提出できる。
- ・タブレットを使えることで、学習に対する意欲が高まる。
- ・児童が自分の学習に関するデータを保存したり、教員に送ったりするのが容易になった（社会科まとめのスライド、体育の実技の動画など）
- ・自分や友達の作品をより意識して見たり、感じたことを表そうとできる。
- ・主体的な学習ができる。自己教育力を高めることができる。

Chromebookの活用効果（児童生徒）

- Chromebookを使った授業は、Chromebookを使わない授業よりもわかりやすいですか。（調査項目：児童No4、生徒No4）

児童 **93.4%**

わかりやすさ
を実感

<経年比較>

令和3年度 86.0%
令和4年度 88.0%

生徒 **93.3%**

わかりやすさ
を実感

<経年比較>

令和3年度 81.2%
令和4年度 86.0%

① そう思う	65.4%	② ややそう思う	28%
③ あまりそう思わない	5%	④ そう思わない	1.6%

① そう思う	56.4%	② ややそう思う	36.9%
③ あまりそう思わない	5.3%	④ そう思わない	1.4%

- Chromebookを使った授業で、あなたができるようになったことはどんなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。（調査項目：児童No5、生徒No5）



Chromebookを使った授業でできるようになったこと ※内訳については複数回答	児童
① 自分の考えをわかりやすくまとめる	1位 (63.8%)
② 友達と協力して学習する	2位 (53.5%)
③ 自分の意見を工夫して伝える	3位 (40.8%)
④ その他	8.8%

Chromebookを使った授業でできるようになったこと ※内訳については複数回答	生徒
① 自分の考えを整理してまとめる	1位 (56.1%)
② 友達と協力して学習する	2位 (52.9%)
③ 自分の考えを深める	3位 (46.1%)
④ 自分の考えを他者に伝わるよう工夫して表現する	36.9%
⑤ その他	3.7%

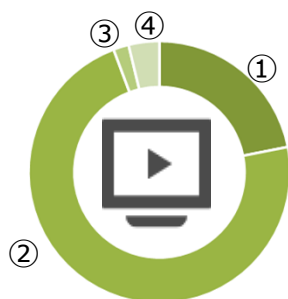
「その他」（自由記載）より抜粋

- ・タイピングが早くなった、まとめる力がついた
- ・わからないところをChromebookで調べることができるようになった
- ・普段話さない人でも意見を交換できる
- ・友だちの意見と自分の意見が比べやすい
- ・社会で出てきた人物の詳しいことを検索できたり、係活動でアンケートをとるときフォームを使えば簡単にできるのでやりやすくなりました
- ・授業が楽しい、授業の内容が覚えやすくなった
- ・宿題の提出も便利になりましたし、分からないことがあればネットで調べることができます
- ・私は人々に私の言っていることが理解できるようにグーグル翻訳を使用しています

オンライン授業等の実施

欠席や、様々な事情により登校できない児童生徒に対するオンライン活用授業等を実施したことがある学校は、小・中学校ともに約9割以上にのぼる。

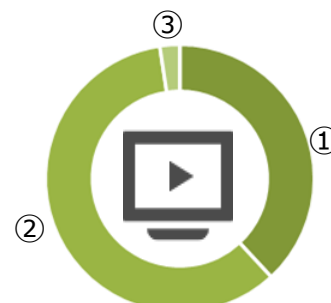
- 貴校では、欠席した児童や、様々な事情により登校できない児童に対して、オンラインを活用した授業等を実施していますか。（調査項目：小学校管理職No5、中学校教員管理職No5）



小学校管理職

94%

常にもしくは状況に応じて
実施経験あり



中学校管理職

98%

常にもしくは状況に応じて
実施経験あり

①常に実施している	22%	②状況に応じて実施している	72%
③今は実施していないが、検討中である	2%	④実施していない	4%

①常に実施している	38%	②状況に応じて実施している	60%
③今は実施していないが、検討中である	2%	④実施していない	0%

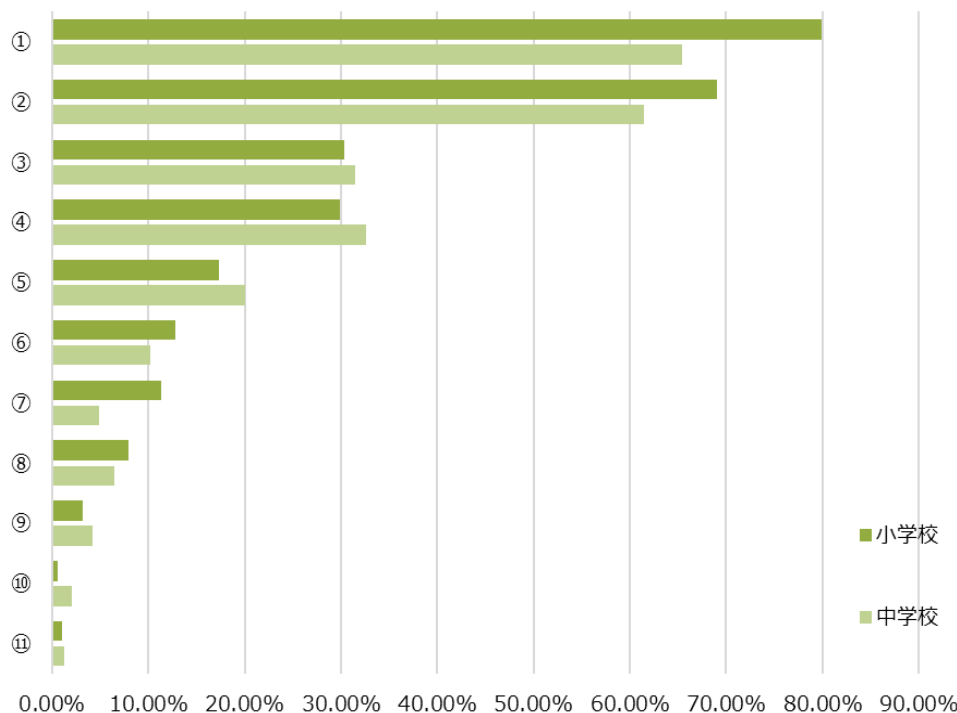
- 「常に実施している」「状況に応じて実施している」と回答した方にお聞きします。どのような方法で実施していますか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校管理職No5-A、中学校教員管理職No5-A）

活用した場面（上位3場面）	小学校	中学校
① オンライン授業（双方向で「教員と児童」「児童同士」でやりとりする授業）	57.6%	24.4%
② 授業配信（双方向でのやりとりは行わず、授業の様子のみ配信）	74.7%	97.6%
③ オンデマンド授業等配信（事前に録画した授業動画等の配信）	2.0%	4.9%

ICTの活用について困ったとき、どのように解決しているか

小学校教員の約8割・中学校教員の約7割がICTの活用について困ったとき「ICT支援員に相談」して解消している。そのほかの解決方法として、「自校のICTに詳しい先生」への相談が多く挙げられた。

- あなたはICTの活用について困ったとき、その困りごとをどのように解決していますか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校教員No16、中学校教員No16）



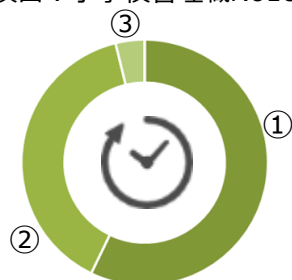
ICT活用の困りごとの解決方法 ※内訳については複数回答	小学校 教員	中学校 教員
① ICT支援員に相談している	1位 (79.9%)	1位 (65.4%)
② 自校のICTに詳しい先生に相談している	2位 (69.1%)	2位 (61.5%)
③ 関連サイトなどを調べる	30.4%	31.5%
④ 自分で活用事例などを調べる	29.9%	32.6%
⑤ マニュアルなどで調べる	17.3%	20.1%
⑥ メーカーなどのヘルプデスクに相談している	12.8%	10.2%
⑦ 教員用GIGA活用ポータルサイトを確認する	11.3%	4.9%
⑧ 他校のICTに詳しい先生に相談している	7.9%	6.5%
⑨ 困ったことはない	3.2%	4.2%
⑩ 相談できる人はいない	0.6%	2.1%
⑪ その他	1.1%	1.3%

校務支援システムの活用による事務的な作業の効率化

校務支援システムの活用により、**事務的な作業が効率化された**と感じている管理職は、**小学校で9割以上、中学校で8割以上**となっている。効率化により捻出された時間は、**時間外勤務の削減や教職員の指導、学校や教育活動についての情報発信の充実**などに充てられることが多かった。

- 校務支援システム（C4th）の活用により、事務的な作業の効率化が図られていると思いますか。

（調査項目：小学校管理職No18、中学校管理職No18）

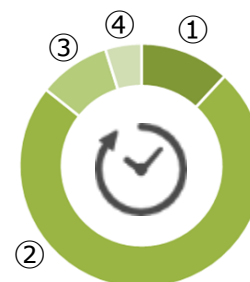


小学校管理職

96%

事務的な作業の
効率化を実感

① 思う	57%	② やや思う	39%
③ あまり思わない	4%	④ 思わない	0%



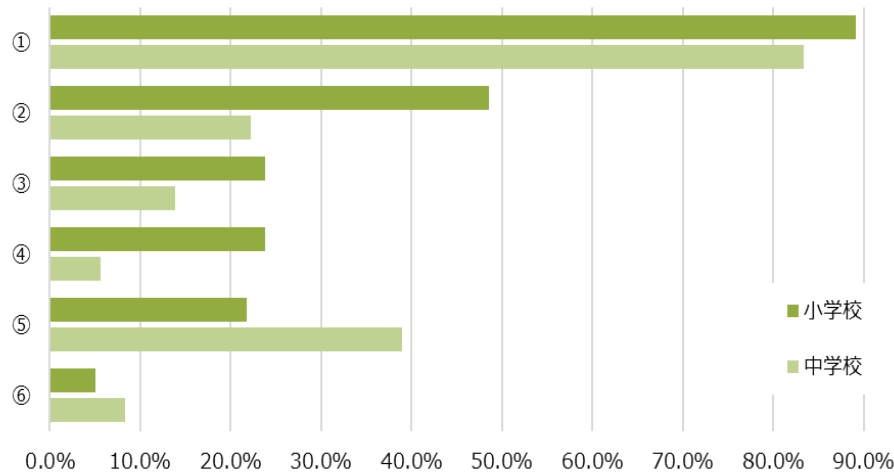
中学校管理職

86%

事務的な作業の
効率化を実感

① 思う	12%	② やや思う	74%
③ あまり思わない	9%	④ 思わない	5%

- 18-B.「思う」「やや思う」と答えた方にお聞きします。効率化により捻出された時間を、何に充てましたか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校管理職No18-B、中学校管理職No18-B）



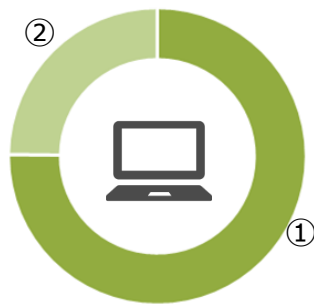
効率化により捻出された時間の活用 ※内訳については複数回答	小学校 管理者	中学校 管理者
① 時間外勤務を減らすこと	1位 (89.1%)	1位 (83.3%)
② 教職員の指導	2位 (48.5%)	22.2%
③ 保護者（地域）への子どもについての情報 発信を充実させること	23.8%	13.9%
④ 他校の研究発表授業などを自由に見に行く 時間を確保すること	23.8%	5.6%
⑤ 保護者（地域）への学校や教育活動につ いての情報発信を充実させること	21.8%	2位 (38.9%)
⑥ その他	5.0%	8.3%

教員用パソコンの1台化検討

教員は現在「校務用パソコン（Windows）」と「学習用パソコン（Chromebook）」の2台を使い分けているが、今後校務用と学習用のパソコンを統合・1台化を検討する際には、「**Windows**」機種への統合希望が多かった。

- 教員用パソコンについては、利便性の向上を図るため、校務用と学習用のパソコンの統合・1台化の検討を行っています。パソコンが1台となると、WindowsとChromebookのどちらの機種に統合することを希望しますか。

（調査項目：小学校管理職No23、中学校管理職No23、小学校教員No39、中学校教員No39）

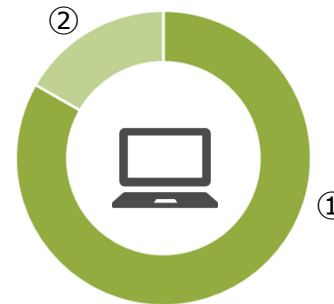


小学校管理職

75%

Windows
を希望

① Windows	75%	② Chromebook	25%
-----------	-----	--------------	-----

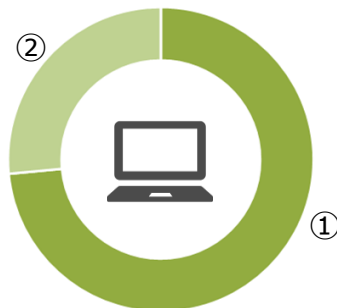


中学校管理職

83%

Windows
を希望

① Windows	83%	② Chromebook	17%
-----------	-----	--------------	-----

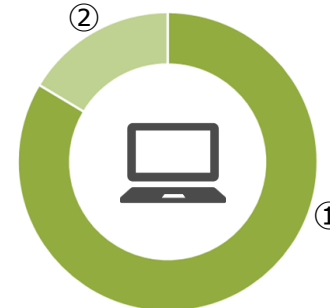


小学校教員

74%

Windows
を希望

① Windows	74%	② Chromebook	26%
-----------	-----	--------------	-----



中学校教員

84%

Windows
を希望

① Windows	84%	② Chromebook	16%
-----------	-----	--------------	-----